

石上住民説明会（2回目）会議録

平成28年9月4日（日） 時～ 時 分（47分）

市側出席者：並河管理者、川口事務局長、井上次長

石上町：前はリサイクル場の案はなかった。今日は市として、それについての説明をして頂きます。

組 合：昨年の9月5日に焼却場の説明をさせて頂いたというところで、その後リサイクル施設の場所が確定しましたので、並河管理者から説明をさせて頂きます。

管理者：このような上席から恐縮ですが、平素から市政運営全般にわたって大変お力添えを賜っておりましてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。昨年にお集り頂いて焼却施設のご説明を申し上げたところですが、その後リサイクル施設の候補地の確定、そして広域の事務組合というのが立ち上がる等の進展がありました。この間、説明は区長様を通じてあるいは、市の広報を通じてというような間接的になっておりましたので、今晚改めてお集まり頂いた次第でございます。ありがとうございます。私の方から説明をし、皆様方からご質問を受けるという形にしたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。資料の1、A4の資料をご覧下さい。リサイクル施設等については、昨年の説明会の際はまだ候補地は決まっておりました。こちらのA3の資料で申しますと、次のページの地図があります。焼却施設の候補地のみが当時お話されている部分で、現在焼却施設の南西に駐車場と、元々はシャープさんのグラウンド、テニスコート等がある所を、リサイクル候補地とさせて頂いております。そのもっと前の段階では、この候補地の北側の所を一旦候補地という事で、樺本校区の中でお話をしていた時もあったが、A4の資料にありますように、この土地の形状や道との段差等測量等を行って行く際に、こちらでは難しいという中で一旦候補地というのは、一から探している状況だったが、この焼却施設候補地から一体的に管理できる距離の場所で、地権者の皆様方の理解を得まして22,000㎡の候補地が急きょ出て参りました。こちらの所をリサイクル施設の候補地とさせて頂きたいと考えており、進めているところです。このリサイクル施設は、いわゆるプラスチック工場のような施設で、運んできた粗大、リサイクルのものを溶かすとか、そういった事は一切いたしません。ペットボトルとか運ばれた時には圧縮し運びやすい形にし、リサイクル出来る形に処理をして、次の所に運んで行くというような形になります。この施設の中に何かを埋設する事はありません。全て建屋の中で処理をしていくという事です。こちらは高瀬川沿いですので、元々この高瀬川一帯は水害等も頻発していた地域で、現在この一帯は既に更地状態になってしまっていて、あまり保水力がある状態とは思っておりません。色んな資材が置いてあったりとかいう状況からすると、むしろこのリサイクル施設22,000㎡ですが、建物自体はおそらく5,000から6,000㎡のもので計画して行こうという事で、残りのスペースは、駐車場とかであったり、後は周りの景観をしっかり保つ為に、周りを緑で囲む緑地帯というものを設定していこうと、そしてこちらに1,000t単位の調整池を造っていこうと考えておりました。これによって今の洪水調整機能よりは、この施設が出来る事によってその機能が高まるというふうに考えております。昨年来させて頂いた際には、まだ具体的にどこの市町村と広域を考えているのかというのはご説明出来ていなかったのですが、それが1枚目の資料で、上に書いています通り、今は天理、川西、三宅、山添で処理をしていますが、そこに名阪沿いの大和高田、三郷、安堵、上牧、広陵、河合町以上の市町村で事務組合、これは1つの組合の中で一緒にものを処理して行こうという事で、知事の認可を受けて行われる公の団体の名前の事で、こちらを4

月に発足し、私が管理者で、川口が事務局長で務めております。これは何故かという、やはり地元の皆様方のご懸念にしっかりとお答えし、地元振興にも、色んなトラブルが発生した時に責任を持って対処するには10市町村ではありますが、この管理者というのはずっと天理市が持ち続けていくという事で天理の今は私ですが管理者という形になっております。この人口の総数は、概ね25万人です。10市町村というともうの凄く大きい印象もありますが、実際には奈良市よりも小さなサイズです。この内リサイクルに全部が来る訳ではございません。天理、山添、川西、三宅に加えまして、上牧、広陵、安堵の3町がリサイクルについて参加という事です。前回来させて頂いた際には、色々ご意見を賜ったところですが、広域化について説明をさせて頂きたいと思っております。色んな所からごみが集まって来る事によって皆様方の生活上、ご迷惑をおかけする事がないのかという部分でございます。今回の広域化については、今本市に運んでおります、天理、山添、川西、三宅以外の市町村は、全て積替施設というのを造って頂く事になっております。これは市町村長間で合意をしております。例えば高田の場合、高田のパッカー車がそのまま来るというのではありません。あくまでも高田市内に造った積替施設に全部持って行きます。又今回の施設は、一般ごみを扱うものですので、いわゆる産廃と言われるものについては、この施設に来る対象になっておりません。だから高田のパッカー車は全部高田の積替施設に持って行き、そしてそこで10t車に乗せ換えて、それが名阪を必ず通って東インターで降りて、その両施設に向かっていくという形になって参ります。組合の中では印を付けるという事を決めておりまして、郡山インターから天理インターまで料金がありますので、どこかの市町村が郡山で勝手に下りて、一般道を通って運んで来たとなった時は、これは地元にご迷惑をお掛けするので、必ず印を付けた車しかこの施設には入れない。そして印を付けたにも係わらず、一般道を通っているところがあれば、組合での取決違反という事にする、これも合意をしているところです。そうするとどれくらい車が増えるのかと、焼却ごみでは1日で概ね30台、リサイクルでは重さよりペットボトル等嵩が張りますので今精査をしていますが、およそ15台前後という事でございます。今、名阪が昼間の12時間の間に概ね3万台の車が毎日通っております。1台も増やすなどと言われると非常に難しいですが、1日の内に30台プラス15台位、45台程度が増えるという事について皆様方のご理解を得たい。それと45台と言っても、同じ時間帯に全部来てしまうと、東インターで渋滞があるのではないかと思われると思いますが、何故午前中にごみを集めないといけないかという、民地に置いておくとカラス等突いて迷惑がかかるので、積替施設に一旦入れてしまえば市民生活に迷惑はかからないので、こちらに着く時間が分かれるように調整するという事で合意をしています。高田に関しては11時以降、それ以外の所は午後1時以降に分かれながら到着するという事で合意をしています。何故高田が11時と言うと、高田は少し規模が大きいので1時から始めると勤務時間内に持って来る事が困難である。天理のインターの様子を実際、警察にある資料を調べて1時より前は比較的混んでいる、そこから先の方が空いているという状態なのでそのようにしています。天理教の月次祭とか大祭の時は車が混むので、そういった大祭の日には運ばないようにするというような措置を採る事になっております。また一般の車、奈良市の施設でもズラッと並んで24号線で渋滞がありますが、一般車両についても免許証を確認させて頂くというようにさせて頂くと、天理、川西、三宅、山添の今既に直接クリーンセンターに持って来られている方は受け入れる。ただし高田の方に関しては高田の積替施設に持って行ってもらおうという事です。それが何らかの都合で直接ここへ持ってきたいという場合になった時は、免許証を確認すればどの町村か分かるので、そちらへ持って行って下さいとなるので、一般車両がここにたくさん来るという事がないよう、今、整理をしているところでございます。今のクリーンセンターが24号線まで車があふれ出て混む時というのは、年末年始の数日に限られるという事くらいです。また実

態を見ていって渋滞があるようですと更なる対応をしないといけないと思います。広域でやる事で、ここに凄いご迷惑がかかるという事はないという点についてはご理解を頂きたいと思います。昨年来させて頂いた際に、今後の地元振興といった事についてどう考えているのかというご質問だったと思うが、それについて先般広域組合で議会を持ちまして、天理市の場合市議会があるが、事務組合を作った場合は、特別に10市町村から議員さんが寄り集まって議会というものを作り、定例会をやり、条例を通したが、そこで地元振興に関する基金の条例を通しました。今回の施設を造らせて頂く事によって10市町村にとっては財政的にも、もの凄いメリットがあります。建設でおよそ100億円、その後の維持運転で9億から10億円が毎年助かる、天理の場合は、それで何をするのかという事で、元々子供の医療費が小学校になった瞬間に通院の補助がなくなったわけですが、広域をやらせて頂く部分で浮いた財源を全部ではないが、市民の皆さんの福祉の向上に繋がりたいという事で、それをもって中学生までの医療費助成の拡大という事で議会の合意を得ました。それに加えまして今の予定ですと、1枚目資料の下にスケジュール表がありますが、32年度から35年度にかけて工事をやっていくと想定しております。この期間に地元から色々受け賜ったご要望のお答えをしていく。この施設は元々国からの補助はあるが、県からは補助がない筈です。ただ今回は県の補助を10市町村が纏めてやる事は県全体にとってメリットだという事で、県が補助を出す事を決めた。その部分は地元にしっかりと還元をしましょうという事で10市町村で合意をいたしまして、来年度から35年度にかけて概ね10億円の基金を作っていく。それをみんなで、ごみ量割合で積み立てていくという事にしております。それを32年度から35年までの間に、皆様方からいただいたご意見を基にその対応をとって行こうと、その為の協議会というものをつい先日立ち上げさせて頂きました。こちらは会長に樺本校区の■■■さん、副会長が岩屋の■■■さんという事になっております。この協議会の方には、ご当地石上からもご出席を頂くと、そして樺本からは六総、檜、和爾、こういった地元の町が入ってきていると、そこに農業関係、教育関係の皆さんも入って協議会を作った。昔と少し行政のやり方が違ってきます。実際に今の嘉幡の施設でも地元の振興の為の補償費のようなものが払われているのは事実でございます。今回からは事業でやらせて頂きたい。ここの町からのものを一つ、一つではなく、協議会の中で地元のご要望というのを纏めていって、それに対して基金から支出をしていくという事で考えているところです。例えば夜間の安全対策ですとか、ここの道路、ここの池等の管理とか色々ご要望が出て来るかなと思いますが、それを個々バラバラではなく協議会の中で議論をし、それを32年から35年の間にしっかりと対応して行きたいと思っております。それに加えて地元振興という事ですと、これは前回にも少し申し上げたかもしれませんが、A3資料の後ろのページ、色んな施設の視察というのもこれまでやって参りました。兵庫県川西市の例ですが、最新の施設はイメージが大分変わっております。中でコンサートをやるような所だったり、公民館のように皆さんが集まる所とか、図書スペース、グラウンドだったり、皆さんが嫌がって来ない施設というより、むしろ土日なんかは人でいっぱいになってフリーマーケットなんかも行われている施設というのが沢山あります。ですからマイナスの部分が全くないかと言うと、それは否定しかねる所ですが、それが出来る事によって地元の色んな方が来てもらえるように、施設の部分も今後考えていきたいと思っております。そういった点でも地元のご意見、ご要望を承りながらしっかりと対応をしていきたい。白川、高瀬川一带がこの施設が立地する事で悪くなるというより、むしろしっかり整備をされて、行き届くようになったというふうに言って頂ける状況にしてこそ、今回の計画だと思っている所です。一方的な説明になりましたので、分かりにくい所もあったかもしれませんが、皆様方からご質問等をお受けしたいと思っております。

石上町：新しい施設を造る場合と、民間の業者に委託した場合とでは費用的なメリットは造った方が大きいですか。

管理者：斑鳩町さんなんかは、積替施設を造って民間に委託されている所もありますが、非常に高額の治療料がかかって、その点で言えば自分達が造って運用していく方が経済的なメリットがあります。今回の施設は高効率発電も行っていくというような事も計画してまして、防災関係の皆様ともご相談しているんですが、通常時は売電をする、何かあった時には、電力とか熱源というものを地元の防災対策の為にも生かしていけるような施設を目指したいと思っております。民間委託ではなく、行政の方で建てる施設という事を考えております。

石上町：1年前に、うちの方の為にちゃんとするという話だったが、樺本と岩屋の審査委員会みたいな所の決裁もらわなくても進められるのか。

管理者：石上町様もメンバーで、あくまでも会長、副会長・・・。

石上町：メンバーに入っているんですか。

組 合：地元振興協議会というのを立ち上げてまして、その中に樺本校区のメンバーと隣接する石上と岩屋の区長さんに入っています。

石上町：そういう審査する・・・。

管理者：審査というか、取り纏める協議会です。

石上町：その中で、こうしてくれと言った時に、石上を代表して言ってくれる人がいるんですか。

組 合：区長さんに入っています。纏めて頂いたものを協議会へ上げて頂く。

石上町：協議会で通る、通らないは協議会の決裁がなければ、いくら石上が防犯設備とか道を直して欲しいと言っても、決裁がもらえなければいくら言ってもやってもらえないという事ですね。

組 合：その辺は協議して頂かないと・・・。

管理者：協議会の中でしっかり作って行こうとなっておりまして、会長、副会長は決まっておりますけれども、誰が上、下という事より、みんなで取り纏めて行こうという中で、各町毎に出して来られたものが、今10億規模の基金の中で、全部積み上げて20億も30億にもなってしまおうとなると、全てがやりかねると、ですからそれは整理しないといけないわけで、頭ごなしに、会長、副会長が石上町からの要望は受けられないとか、あるいは明らかにバランスが悪いというような事がないように、しっかり協議をしていきたいと思っております。

石上町：リサイクルの土地がありますね、これは買収かけて天理市が買っているのか。

管理者：賃貸です。

石上町：地権者は誰が・・・何故ここになったんですか。

管理者：1つは、どこにもなかった場合は、嘉幡にある今の施設にリサイクルの部分だけ残さざるを得ないかなと考えている時期もございました。昨年来させて頂いたのが、ちょうどその時期だったんですが、そうすると管理部門も全部分けないといけない、また焼却施設の部分というのは、焼却炉を建てればいっぱいになってしまいますので、車を止めておく場所もない。それがまた名阪を通るにしても4キロ程あるので、相当運用が難しくなってしまうという時に、この周りでまとまった土地が確保できないかと考えておりました、その時に今シャープに貸しておられる地権者の皆様方との間で、私自身も話をさせて頂いたが・・・。

石上町：年間いくらの賃貸料ですか。

管理者：年間で1,447万です。

石上町：天理教から借りているでしょう、その金額は上がる事はないですね。クリーンセンターまた上がるでしょう。賃貸金額が。

管理者：鑑定書で出たものに合わせてという事で。

石上町：前に聞いている金額より上がるでしょ、クリーンセンター。これが完成するようになったら金額は上がるでしょ。

管理者：岩屋の方との皆さんとの間では、もうこの金額でという事で・・・。

石上町：いや、ここじゃなくて、こっちのクリーンセンターの方が、天理市が天理教から借りている、それが公表されている金額より賃貸料が上がるでしょ。

管理者：2,000万ちょっとでございますので、鑑定に基づいてやって行くという事ですけども。

石上町：ここは上がらないんですか。

管理者：上がりません。リサイクルの方がそれに併せて上がるというのは・・・。

石上町：いやいや、そう意味じゃなくて、クリーンセンターが天理教から年間何ほど、借りの金額は分かっているでしょ。1年前に説明してもらって。

管理者：あの時も鑑定に合わせてという事です。

石上町：あの時は、金額がこれが動き出したら賃貸料が上がるでしょうと。

管理者：前の時はまだ鑑定が出ていませんでした。

石上町：上がってない。

管理者：正直に申し上げて、鑑定士さんが複数いる中で、利回りを幾らにするとかで、若干その鑑定に誤差があったのは事実です。その土地の地権者との合意できるところでやろうという事で・・・。

石上町：だから、上がらない。

管理者：今、我々が持っているものより更に上がるという事はないです。

石上町：それは多少は上がるでしょ。

管理者：議会に説明がつかない程、上げる事はない。

石上町：勿論、議会に通さないとあかん、こんなもん勝手に・・・上がるでしょ。

管理者：最初我々が想定していたよりは若干高かったです、それは事実です。

石上町：同じようにここも、地権者と契約しているでしょう。クリーンセンターが天理教から買えて、あそこでクリーンセンターが出来る。直ぐにここも借りる話が出来とるやないか。協議してここにしようかと言って、いい所やなど、立地条件が良いと言ってここに決まったんやないのか。天理教の土地にクリーンセンターが出来ますよと、ここはもうとうに決まってるやないか。

管理者：去年の9月の中旬に決まった。

組 合：当初は、焼却施設の西側で予定していたが、地形的に無理だと。前にここへ説明に来させて頂いた時は、まだ決まっていなかった。

石上町：何でここやねん。何でここになってるの。

管理者：要は順番としてどういようになるかなんですけども、我々としては、地権者が良いよと言わない前に地元に対する・・・。

石上町：地権者おるでしょ、何人が共同で持ってるでしょ。

管理者：はい。

石上町：天理市がこの土地貸してくれといったのか、それとも地権者が、元々シャープに貸していたこの土地を、天理市にここを使ってくれといったのか、その辺の後先はどっち。

管理者：天理市からお願いに行った。

組 合：たまたまシャープの状況があつて、そこが空いてくるという事でお借り出来た。

石上町：俺は聞いている。あんたらおかしいよ。

組 合：決定する前ですか。決定したのは9月の説明会させてもらった後ですけども、話としては、お借り出来ないかという交渉というのは当然あつたという事です。

管理者：それが交渉段階で、それが本当に貸して頂けるのかという事が全く分からなかつた。

石上町：交渉に行った時には、もう貸してくれはるんです。裏で画策があるから、天理市がここお願いしますと言ったら、貸してくれはるんや。いきなり地権者の所に行って、貸してくれませんかと言つて前へ進んだ話やないわけや。事前に画策があつて分かりましたよという道筋がついている。

管理者：我々としては、ドキドキしながら断られる可能性もあるかもしれないという気持ちでやつた。

石上町：120%ない。地権者調べてんねん。誰か。

組 合：結構地権者の数が沢山おられます。中には、やはり・・・。

石上町：地権者と言っても一人ではなく、何人か共同でやつてはつたわけで、シャープもこうなつてしまつて、もう使いようがないわけですね。遊ばしている土地や。そこにクリーンセンターが出来る。リサイクルの土地がある、自分らで画策があつて、天理市が行つて・・・。

管理者：ご理解頂きたいのは、シャープさんは大分高いお金で借りておられて、それからしたら3分の1位です。

組 合：元々岩屋の方の土地で、岩屋の方も焼却施設については反対しておられたので、我々としても。

石上町：あまり余計な事言えへんけど、反対はしてはつてんやろ。でも岩屋の発展の為になる事がある。ここで言えへんけども。

管理者：大分色々実際に、なぜ嫌悪感を示されているのかという事を議論させて頂いて、視察に行つて頂き、実際の施設の状況を見て頂いた後は大分雰囲気、思つていたのと違うという事で変わったという認識です。

石上町：天理の東インターで・・・出来る話聞いているやろ。

管理者：地元の中で考えておられるという事は聞いていますので。

石上町：良くなるんや。だから石上はどの場面で良くなるんやと。

管理者：そこは、基金の中で、どこの部分が基金の中でやらせてもらう事が、町の皆様方の生活が、利便性が高まるという事は、これは天理市が一方的に決めてやるよりも、ご要望頂く中で話をしていきたいと思っています。

石上町：石上発展の為にやってくれたら、何も言わへん。僕の言うてるのわかる。天理市は皆せやんか。色んな開発が、駅前も始まっているやんか。事前に決まってるやんか。せやろ。市役所の横にかて何出来るの。正面入って行って、ガラスの向こうに何か出来るねやろ。

管理者：あー、はいはい。うまくいくかどうかわからない。

石上町：分からんけども事前に全部出来たる。メディカルセンターでもそうやんか。皆もう先にこうなってますよ、ああなってますよ、ケーズ電気でもそうや、言えへんけどもな。天理市は皆そうや、全部裏である人がパッパと取り決めて、そして表向きで説明して、こんなもん説明会せんでもあこは出来るねやんか。クリーンセンターの説明会せんでも、ここも、ここも出来るねやん。

管理者：我々の認識は、出来ていくとしても地元の皆さんに不安があるまま進めて行くというのは、これは行政として良くない。例えば空気、水はどうなるのか、車でご迷惑をおかけする事はないのか、そういう事についてちゃんとご説明をした上で……。

石上町：……ただ石上発展の為に、どんな事をしてくれるのかと言うだけやねん。金くれと言うてるのと違うで。金は工事始まってからや。ここで村の為に何ぼくれると言うても、金じゃないねん。あれは工事が始まってからや。

管理者：そこが今申し上げたように、この1年間何をやってたという事ですが、ちゃんと10市町村が皆でお金出しあって基金を作るところも道筋をつけてきた1年間……。

組 合：地元振興の基金を各市町村から分担金としてもらうと、そして積み立てていく、そのお金を地元の振興に使わせてもらうという事です。

石上町：国から何ぼ出て、県から何ぼ出て、天理市が何ぼ出てと計算したら、どれだけのお金集まる。この工事の金額ここに書いてある金額より、始まったら上がるで。賃貸料も上がるよ。

組 合：施設に係わる金額というのは、当然変わってくる。ただそれ以外に各市町村から、地元へ迷惑をかけるという思いから、各市町村から基金を積み立てて、そのお金を地元振興の為に使う。国から施設のお金とは別に……。

石上町：国から出たお金はどないするの、大分残るやろ。色んな噂聞いとるで一。色んな噂聞いて勉強しとる、俺も。

管理者：事業費の半分という形になるので、来るものが余るという事はないですね。余ったら当然返さないといけない。

石上町：だから言うてるように、初めの工事金額よりか、出来上がった最後には、始めの金額よりか上がった金額がかかる。

管理者：極力、上がらないようにします。

石上町：上がらないようにするんじゃなくて、あれはもう決まっとんねん。160億か何ぼや、国からの予算もわかっとんねん。何ぼの予算持つてるか、それをこの工事を使ってしまわんなんから、・・・一番知ってるやん。

管理者：確実に補助して頂けるように・・・。

石上町：俺、嘘言わへんで・・・今現在の賃貸料、天理教との賃貸料、年間何ぼか、金額は言えへんけど、これも最終的には、始めの金額よりかは上がるよ。賃貸料も。だからこっちの方も上がるのかな。

管理者：岩屋の方は、上がるという事はないです。今既に契約結んでおりますので。

石上町：土地の。

組 合：余程の経済の変動があった時だけの条項は入れてますけども。

管理者：バブルみたいな事が起きて・・・。

石上町：そんな事じゃない。例えば年間1,000万が1億も2億も上がる事ない。1,000万の契約するのでも必ず1千何百万と上がるよ・・・。

管理者：毎年見直しにはなってないです。

石上町：なってない。

組 合：一応60年という契約をしていますから。

石上町：石上良くなるようにしてよ。

管理者：勿論。しっかりやろうと思っております。

石上町：環境アセスメントをやられると思うんですが、いつからやられるんですか。

組 合：配慮書の方は、もう作りかけております。

管理者：実際には4年間かけてやっていきますが、事業者の方が入札で決まりまして、作業開始してい

ます。

石上町：いつから、誰がやるんですか。

組 合：コンサルタント会社に委託しておりまして、そちらの方で現地調査もやって頂いています。県の環境審議会にかける資料の概要版を作っている所です。実際の現地調査は来年度くらいから入る予定です。

石上町：入札ですか。通常はプロポ・・・何かで・・・。

管理者：プロポーザル。一般競争入札です。

石上町：何日までに申請出せと言うて・・・。

組 合：申請は出してもらいますが、入札です。

石上町：金額が決まってないからか。

組 合：金額というのは、うちが設定している金額がありますけども、それを幾らで落とすかというのが競争ですので、最低限の金額で落とします。業者は八千代エンジニアリングで東京の業者です。

石上町：釜はどこいくの。

組 合：それはまだこれからです。建設はまだです。

管理者：これはどういったものにしていくかというのは、専門家も含めて決めて、その時は値段だけではなくて、環境の技術とか対策等評価項目が出てきますので、そっちはプロポーザルになりますけども、今回の環境・・・。

石上町：天理市地元業者Aランクを入札候補の中に入れてというような、それはないわな。

組 合：まだ全然出来てないです。

石上町：今は出来てないけど、いつも天理市は後になったら必ず入って来るやんか。プロポーザルに行く時の候補に入れとったら、何でここやとなるから、最後はいつもそうなるやろ。

管理者：今回のものは、結構大きな専門にやっている所でしか・・・。

石上町：釜は2社や、2社しかないやろ。1番知ってるやろ、釜は2社しかおれへんねん。ほんで、ゼネコンのJVやんか。勿論1社では無理や、あれだけの百何億の、何社かいった時に、いつもの方程式でその下請け孫請けに天理市のAランクを使たってくれというのは今回入るのか。

管理者：入れるかどうかまだ立件されてないですが、我々としては地元に関係するものがあつたらそれを否定する要素はない。

石上町：市長が言うのは分かってる、天理市の為に関心をもてるのは分かってる。それって、皆平等に回るようにしたつたらええねやん。いつも独占企業やから俺は言うねや。何を言わんとしてるか分かるやろ。独占企業やからあかん。

管理者：今回は、その点については10市町村全部でやるので、天理だけの理屈と言うよりも、10市町村の皆さんが見て変じゃないという事にならないと進められないので、そこは市の事業とは違ってくる部分です。区長様のご質問にお答えすると、最終的にはこの4年後に県の方に認可を求めて行く際に、ここでやった場合どういう影響が想定されると、対策はちゃんと取れているので大丈夫ですというようなものを出していくという形になります。

組 合：正に4年かかりますので。

石上町：処理場、今日は主に焼却施設に関してでも……。是非行きたくなる施設にして下さい。

管理者：本当にそう願っております。実際、今の天理の施設をご覧になれば、そんなふうにはとても思えないと思われるかもしれないが、最近の施設は、そういった場所として機能しております。

石上町：また後でわからない事があれば、役所の方に連絡したら。

管理者：はい、お電話を頂いたらお答えいたします。今まだ一般論でございまして、実際のどういう施設になるか、どういう外観になるか、これからの4年間の環境影響評価と並行して進めて行く事になるので、進捗の際には、区長様を通じてご相談もさせて頂いて、きちんと説明をしていきたいと思っております。今日はどうもありがとうございました。

以 上

